

令和6年度 美方高等学校 学校関係者評価書

(問)

- ・学校評価書の成果と課題が適切か。
- ・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。

(意見を聞いた方)

同窓会会長 河原 英明

(意見欄)

○中高一貫教育

- ・令和7年度入試では、連携クラスの入学率が下がっているが、その要因と考えられることはないのか。
- ・近年、「探求学習」に中高連携して取り組んでいることはたいへん良いことである。
- ・目標に学校間交流活動が10回以上となっているが、達成率はどれくらいか。
- ・国際交流活動についても、目標に対する達成率はどれくらいか。

○教育課程 学習指導

- ・「あまり(ほとんど)理解できていない生徒が増えている原因をどう捉えるのか。教師の指導力だけなのか、本人の努力不足なのか。
- ・学習アプリやタブレットなどの有効活用について、今後も努力をお願いしたい。

○生徒支援

- ・心の教育や相談、健康管理などについて、全教職員が意識して取り組んでいることはたいへんうれしいことである。今後も継続指導をお願いしたい。
- ・教室に入りづらい生徒はいるのでしょうか。
- ・面接週間だけでなく、日ごろの生徒とのコミュニケーションを大切にしてください。

○進路支援

- ・高校生にとって、進路支援はとても重要である。令和6年度「進路目標を持つことができた」生徒の割合が減った原因には何が考えられるか。
- ・図書に親しませることは難しくなっている。書物だけでなく電子書物含めて、いろいろな情報を手に入れることが大切ではないか。

○地域連携 保護者連携

- ・メールなどで保護者への発信がしっかりと受信されているのはすばらしい。
- ・ホームページも時々拝見しているが、概ね良好だと思う。

○家庭学科

- ・食物科は、県立高校では唯一であり、美方高校にとっての魅力の一つである。新聞などでも時々報道される記事を読むと、生徒が意欲的に取り組んでいることがわかる。

○業務改善

- ・時間外業務時間は減っているのでしょうか。
- ・ペーパーレス化も進んでおり良いことだと思う。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

- ・美方高校は、他の高校と違って地域との密着度が違うと思います。先日、清明寮が新築されたことは、県も美方高校の存在を認識している証拠だと思います。今一度、美方高校の特色は何かを見つめ直して、学校経営をお願いします。同窓会の活動は少しずつですが、PTA・後援会とともに美方高校を支える組織として頑張っていきます。